



## 平成30年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年9月27日  
上場取引所 東・札

上場会社名 株式会社ニトリホールディングス  
コード番号 9843 URL <http://www.nitorihd.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長  
兼最高執行責任者 (COO) (氏名) 白井 俊之

問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部ゼネラルマネージャー (氏名) 武田 史紀 (TEL) 03-6741-1204

四半期報告書提出予定日 平成29年10月2日 配当支払開始予定日 平成29年10月24日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年2月期第2四半期の連結業績 (平成29年2月21日～平成29年8月20日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年2月期第2四半期	283,947	11.5	48,142	△2.1	48,640	△2.4	35,033	6.7
29年2月期第2四半期	254,763	14.7	49,170	34.0	49,845	32.0	32,828	43.3

(注) 包括利益 30年2月期第2四半期 29,760百万円 (125.5%) 29年2月期第2四半期 13,199百万円 (△46.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年2月期第2四半期	313.69	311.99
29年2月期第2四半期	296.45	293.72

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年2月期第2四半期	511,486	421,691	82.3
29年2月期	487,814	394,778	80.7

(参考) 自己資本 30年2月期第2四半期 420,888百万円 29年2月期 393,693百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年2月期	—	35.00	—	47.00	82.00
30年2月期	—	45.00			
30年2月期(予想)			—	47.00	92.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成30年2月期の連結業績予想 (平成29年2月21日～平成30年2月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	568,000	10.7	99,000	15.4	100,000	14.2	68,500	14.2	612.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 1社(社名) 上海利橋実業有限公司
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年2月期2Q	114,443,496株	29年2月期	114,443,496株
② 期末自己株式数	30年2月期2Q	2,607,938株	29年2月期	2,931,758株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年2月期2Q	111,684,026株	29年2月期2Q	110,740,707株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(業績予想の適切な利用に関する説明)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成29年2月21日から平成29年8月20日）におけるわが国経済は、個人消費の持ち直しの動きが続くなか、雇用・所得環境の改善により緩やかな回復基調で推移いたしました。地政学的リスクの発生や金融資本市場の変動の影響、中国をはじめとするアジア新興国の経済動向等、世界経済の不確実性により依然として先行き不透明な状態が続いております。

家具・インテリア業界におきましても、業態を超えた販売競争の激化及び物流コストの上昇等により引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような環境の中、当社グループ（当社及び連結子会社）は、当第2四半期連結累計期間において次のような諸施策を実施いたしました結果、売上高は2,839億47百万円（前年同期比11.5%増）、営業利益は481億42百万円（前年同期比2.1%減）、経常利益は486億40百万円（前年同期比2.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は350億33百万円（前年同期比6.7%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間の営業概況は以下のとおりであります。

#### ① 家具・インテリア用品の販売

当第2四半期連結累計期間におきましては、接触冷感機能が好評の「Nクール」シリーズの寝具・寝装品が売上を牽引したほか、ソファや自社開発のベッドマットレス「Nスリープ」シリーズが好調に推移し、前年同期を大きく上回る売上高となりました。また、渋谷公園通り店をはじめとした都市部の出店を加速させ、新たな客層を獲得し都市部でのシェアを拡大いたしました。これにより売上は前年より伸張いたしました。前年同期の18店舗の出店に対して当第2四半期連結累計期間では30店舗を出店したため人件費や賃借料及び新規出店にかかるコストが増加したほか、既存店の計画改装の推進により展示什器費等が増加したことで販管費率が上昇したため、前年同期との比較では増収減益の結果となりました。

当社グループの取り組みといたしましては、パーティカルマーチャンダイジングの一環として原材料の集約及び代替材の開発により品質向上と安定供給を推進いたしました。また、季節に合わせた商品企画にも注力しており、南国を思わせる小物と風合い豊かなインテリアを取り揃えた「PARADISE」シリーズや爽やかなマリニテイストで海辺の別荘をイメージした「Seaside Villa」シリーズは、夏の模様替えを気軽にコーディネートして楽しめるSNSでの話題を誘い、売上は好調に推移いたしました。生活に必要なグッズを低価格で色柄を組み合わせて楽しくコーディネートできるプライス・ブランド「DAY Value」におきましては、家具、収納用品やカラー食器などに取扱い品種を拡大し売上が伸張いたしました。

ホームファッション商品におきましては、カラーバリエーションや取扱い品種を拡大した「Nクール」シリーズが、気温・売上動向に応じて、迅速な在庫調整を行ったことも効果をあげ、販売は好調に推移いたしました。特に吸放湿性や熱伝導に優れた原材料を使用し、接触冷感機能の向上及び冷たさの持続率向上を実現した敷きパッド及びベッドパッドは、前年を大きく上回る実績となりました。

家具におきましては、引っ掻きに強くはがれにくい合成皮革「N-Shield」を使用したソファや、収納機能が付加されているソファベッド「ノアーク」シリーズの売上が伸張しております。やわらかく包み込まれる寝心地と耐久性を追求した自社開発のベッドマットレス「Nスリープ」シリーズは、ラグジュアリータイプやハードタイプの新品を投入し引き続き好調な販売実績となっております。また、5月より販売を開始した「座る・寝る・くつろぐ」の3wayで使えるリビングソファベッドは、マットレスにNスリープを使用し、これまでに無い「リビングで使えるベッド」という新コンセプトの家具としてご好評いただいております。

物流面におきましては、当社グループの物流事業を担う株式会社ホームロジスティクスが、日本ロジスティクスシステム協会主催の全日本物流改善事例大会2017において、「スワップボディコンテナ」の導入効果が評価され「物流合理化努力賞」を受賞いたしました。スワップボディの特性を生かして積み下ろし作業と車両運転の作業を分離することで車両不足の解消とドライバーの拘束時間を削減し、高回転輸送手段として労働環境の改善と輸送コスト削減を実現しております。

当第2四半期連結累計期間における国内出店につきましては、出店26店舗、閉店4店舗、建替えによる一時閉店を2店舗実施した結果、店舗数は20店舗増加し448店舗となりました。海外出店につきましては、台湾の出店1店舗、閉店1店舗、中国に3店舗を出店した結果、店舗数は台湾27店舗、米国5店舗、中国14店舗と合わせて46店舗となり、当第2四半期会計期間末における国内・海外の合計店舗数は494店舗となっております。

国内店舗につきましては、6月に国内有数の文化発信地である渋谷に、山手線沿線では最大級の売場面積を展開する渋谷公園通り店をオープンいたしました。9フロアにおよぶ店内では、高機能敷布団やマットレスの寝心地を体感できるコーナーや、実際の使用シーンやサイズ感をイメージできる収納用品や洗濯用品のモデル展示の実施など、新しい売場演出で各生活シーンをわかりやすく提案しております。さらに、最新のデジタル機器を駆使してこれまでに無いお買い物体験を提供しております。また、加速する都市型店舗でのニーズにお応えするため、スマートフォンアプリ機能「手ぶらdeショッピング」を導入いたしました。店舗で商品を持ち歩かずにバーコードをスキャンして発送手続き及びWEBサイトでの購入ができるという新しいお買い物スタイルは、実店舗とWEBサイトをシームレスに繋げてお客様の利便性を高めております。

海外店舗につきましては、上海3号店となる上海徐家湾店は、オープン当初日本国内の全店舗も含めて世界一位の入店客数、売上高を記録するなど、オフィスビルやショッピングモールが建ち並ぶ商業集中都市で注目を集めました。今後中国における旗艦店として「ニトリ」の認知度を高めてまいります。

その他の活動といたしましては、企業メセナ活動の一環として「小樽芸術村」に「旧三井銀行小樽支店」を、小樽を代表する歴史的建造物の一つとして公開いたしました。9月1日には「旧北海道拓殖銀行小樽支店」を修復し「似鳥美術館」として公開し、本施設をグランドオープンいたしました。北海道のさらなる観光発展に寄与すると同時に、国内外の多くの方々が高質な文化・芸術に触れ、情操を育み、感動を共有できる場所にしてまいります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の家具・インテリア用品の販売事業の売上高は、2,774億11百万円(前年同期比11.2%増)となりました。

## ② その他

不動産賃貸収入及び広告・宣伝事業等により、当第2四半期連結累計期間のその他の事業の売上高は、65億36百万円(前年同期比24.3%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ236億72百万円増加し、5,114億86百万円となりました。これは主として、投資有価証券が232億25百万円、受取手形及び売掛金が20億55百万円及び流動資産のその他が62億91百万円増加した一方で、現金及び預金が121億73百万円、商品及び製品が67億47百万円減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ32億40百万円減少し、897億95百万円となりました。これは主として、未払金が43億72百万円、賞与引当金が9億6百万円減少した一方で、未払法人税が23億24百万円増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ269億13百万円増加し、4,216億91百万円となりました。これは主として、利益剰余金が297億93百万円増加した一方で、繰延ヘッジ損益が50億84百万円減少したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月28日付の平成29年2月期決算短信で発表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年2月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年8月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	70,560	58,387
受取手形及び売掛金	18,486	20,542
商品及び製品	46,520	39,772
仕掛品	92	176
原材料及び貯蔵品	2,354	2,061
繰延税金資産	1,001	2,572
為替予約	15,002	7,644
その他	16,174	22,466
貸倒引当金	△9	—
流動資産合計	170,182	153,624
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	103,763	103,068
土地	126,923	142,973
その他（純額）	17,408	18,512
有形固定資産合計	248,094	264,554
無形固定資産		
投資その他の資産	13,732	14,123
投資有価証券	3,531	26,757
長期貸付金	856	829
差入保証金	15,720	15,138
敷金	20,515	21,248
繰延税金資産	2,952	3,576
その他	12,239	11,633
貸倒引当金	△9	△0
投資その他の資産合計	55,804	79,183
固定資産合計	317,631	357,861
資産合計	487,814	511,486
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,001	15,600
短期借入金	625	—
リース債務	187	187
未払金	19,291	14,918
未払法人税等	15,630	17,955
繰延税金負債	564	—
賞与引当金	3,751	2,845
ポイント引当金	1,301	2,303
株主優待費用引当金	214	140
資産除去債務	44	—
その他	18,112	18,586
流動負債合計	75,724	72,536

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年2月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年8月20日)
<b>固定負債</b>		
リース債務	2,330	2,236
繰延税金負債	3	4
役員退職慰労引当金	228	228
退職給付に係る負債	2,634	2,501
資産除去債務	4,565	4,796
その他	7,548	7,490
固定負債合計	17,310	17,258
<b>負債合計</b>	<b>93,035</b>	<b>89,795</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	13,370	13,370
資本剰余金	16,306	17,856
利益剰余金	361,103	390,897
自己株式	△10,188	△9,064
株主資本合計	380,592	413,060
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	884	842
繰延ヘッジ損益	10,369	5,285
為替換算調整勘定	2,243	1,983
退職給付に係る調整累計額	△396	△283
その他の包括利益累計額合計	13,100	7,828
<b>新株予約権</b>	<b>940</b>	<b>803</b>
非支配株主持分	144	—
<b>純資産合計</b>	<b>394,778</b>	<b>421,691</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>487,814</b>	<b>511,486</b>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年2月21日 至平成28年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年2月21日 至平成29年8月20日)
売上高	254,763	283,947
売上原価	115,229	131,061
売上総利益	139,534	152,885
販売費及び一般管理費	90,363	104,743
営業利益	49,170	48,142
営業外収益		
受取利息	193	212
受取配当金	26	27
自動販売機収入	117	120
有価物売却益	147	165
工事負担金収入	147	—
施設使用料収入	148	—
その他	141	224
営業外収益合計	922	749
営業外費用		
支払利息	33	24
為替差損	187	195
持分法による投資損失	—	7
その他	25	23
営業外費用合計	246	251
経常利益	49,845	48,640
特別利益		
固定資産売却益	649	8
補助金収入	80	—
新株予約権戻入益	10	45
関係会社株式売却益	—	3,819
その他	—	21
特別利益合計	739	3,895
特別損失		
固定資産除売却損	11	61
退店違約金等	9	0
減損損失	—	436
特別退職金	38	355
解約違約金	107	—
その他	3	—
特別損失合計	170	854
税金等調整前四半期純利益	50,414	51,681
法人税等	17,561	16,647
四半期純利益	32,853	35,033
非支配株主に帰属する四半期純利益	24	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	32,828	35,033



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年2月21日 至平成28年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年2月21日 至平成29年8月20日)
四半期純利益	32,853	35,033
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	101	△41
繰延ヘッジ損益	△16,173	△5,084
為替換算調整勘定	△3,594	△259
退職給付に係る調整額	13	112
その他の包括利益合計	△19,653	△5,272
四半期包括利益	13,199	29,760
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,175	29,760
非支配株主に係る四半期包括利益	24	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。